

供	用地管理課長	維持調査課長	工事課長	都市計画課長	班員
覧					
目 時	令和3年9月9日(木) 13時00分から14時45分頃まで				
場 所	いきいきプラザ7階会議室				
用 件	逢初川河川災害復旧計画に係る打合せ(第3回)				
出席者	先方	熱海市観光建設部 部長 まちづくり課都市計画室 室長 都市整備課都市整備室 室長 主任、主任 観光経済課農林水産室 室長			
	当方	河川企画課 課長 熱海土木事務所 所長、次長 企画検査課 課長代理、主査、 工事課 課長			

<要旨>

- 二級河川逢初川の災害復旧及び河川改修計画に合わせた道路整備や復興計画について、県及び熱海市で打合せを行っている。今回は、令和3年8月27日(金)の第2回打合せの宿題について確認を行った。

<結果(市の意見)>

- 逢初川復旧に伴う道路整備について、兩岸4mで進めてほしい。
- 左岸の3m分(河川で必要となる部分以上のところ)は市が負担する。
- 午前中に市長、経営企画部長、観光建設部長で相談した結果である。
- 道路幅員5m案は、潰れ地が増えて現地へ戻れなくなる人が出る可能性があるため却下した。
- 糸川や初川沿いのように一方通行で周回できるようにしたい。
- 0.57k付近にある市道には橋を設置して、モニュメント的にしたい。
- 市長の復興ビジョンの意向(イメージ)は「水を感じられるような逢初川沿いの歩道を整備したい」「伊豆山神社との周遊を確保したい」
- 暗渠構造を0.45k付近まで延ばしてほしい。
- 市道伊豆山神社線との接続部は線形や構造が未定なので消しておいてほしい。接続する必要性と市が負担することは認識している。
- 0.75k付近の市道から橋を架けて周回できるようにしたい。
- 地元説明会では復興の全体像を示した上で「河川+道路」の話をする必要があるため市主体で調整をお願いしたい。
- 復興ビジョンの作成は年内を目標に進める。

<その他>